

第5回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和4年8月22日（月）

18時～19時30分

会場：ニシザワいなっせホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

- (1) 第4回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) アンケート調査（素案）について
- (3) 意見交換

4 その他

次回（第6回）の予定

【日時】 令和4年9月20日（火） 18時～19時30分

【会場】 ニシザワいなっせホール （伊那市生涯学習センター6階）

【内容】 新校の学びのイメージについての意見交換

5 閉 会

第4回 上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和4年(2022年)6月29日(水) 18時00分~19時40分		
場所	長野県伊那合同庁舎 講堂		
出席 (敬称略)	山田勝己、田中俊彦、小平 操、笠原千俊、加藤孝志、松井夕起子、漆戸豊徳、堀井一政、篠平 良平、 小河節郎、清水 満、鈴木正志、武田香代、江成明子、井口正宏、松澤澄恵、小口直喜、小林敏明、平沢 一、 福澤竜彦、根橋健治、塩沢秀彦、松島憲一、武久泰夫、竹村浩一郎、古賀涼輔、酒井愛斗、池上悠月 28名		
欠席 (敬称略)	浦野邦衛、松井良介、向山賢悟、倉澤拓真 4名	傍聴者	20名(オンライン参加も含む)、報道4社
事務局	学校関係	辰野高校(加藤教頭、丸山教諭、吉村教諭)、箕輪進修高校(岩田教頭、田中教諭) 上伊那農業高校(武藤教頭、境教諭、山下教諭、若林教諭)、 駒ヶ根工業高校(谷口教頭、竹内教諭、甕教諭、和田教諭)	
	県教育委員会	宮澤室長、田中主任指導主事、石井主事	
当日資料	説明資料、藤村裕一教授(鳴門教育大学)発表資料		

会議事項

- (1) 資料説明 第3回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 講演会「これからの高校を考える」 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授 藤村 裕一 氏
- (3) 質疑応答、意見交換

構成員から出された主な質問・意見

「(3) 質疑応答、意見交換」について (⇒藤村教授の回答)

○再編統合によって教育レベルを落としたりたくない。

⇒学力を落とすような教育をしてはいけないというのは全く同感。そのために同窓会が新しい学びや新しい学校を応援してくれるとありがたい。

○複数の市町村にまたがっていて、上伊那では縦に長い地域で統合をするが、今回紹介したものの地域関係はどうか。

⇒広島叡智学園については、県内で唯一の高校を作るという発想。『地域密着』は、市町村がいくつあるかではなくて、自らが当事者として同一地域だとみなせるような、例えば上伊那とか伊那谷とかそういった地域を、大事にできるかということ、地域でしか活躍できない子どもは育てないことを大事にできるかということ。上伊那は広いのお話があったが、大事なことは距離でなく、地域として一丸となる力だと思う。

○普通科とそれ以外の専門学科を分離して新しい専門学科だけの高校を作ることに、どう考えるか。

⇒これまでの取り組みから学んだのは、生徒の進路の可能性は高校時代にふさがらないでほしいということ。普通科に比べて、専門学科の不本意入学比率が非常に高い他県の調査もある。高校に入るときはどうか、卒業していくときは一人一人の生徒さんが夢を持ってその方向に進む道を閉ざさずに保障するような高校であってほしい。

○個人的には工業を軸に新校をつくらせたいと思っているが、新校を考えるについて軸をどう考えたらよいか。

⇒日本の教育目標は議論を重ねて策定し、「一人ひとりのWell-being」を目指そうということになった。幸せでよりよい人間であることを目指して教育するという。子どもたちの進路は社会が決めるものではなく、将来、新校に来る生徒たちが自分で決めた進路に、「一人ひとりのWell-being」が実現する学校をつくらせたい。

○校地の決定はどのように考えていけばよいか。

⇒あるべき教育の姿から校地を決めるとか、未来志向で建設的に考えるとかがよいと思う。未来の子どもたちの為にというのを最大限に、大人はそれを支えるために知恵を出すというふうに考えることが、物事をいい方向にもっていくことにつながると考えている。

○成功事例ばかりを聞いているので、失敗事例も取り上げていただきたい。

今後の検討事項

- 産業界や中学・高校の生徒、保護者対象のアンケート内容について ○学校像の構築について

その他

【次回】○日時：令和4年(2022年)8月22日(月) 18時~19時30分

○場所：長野県伊那合同庁舎 講堂 ○内容：新校の学びのイメージについての意見交換

【中学生】アンケート項目

- 1 あなたの学年を教えてください。
 中学1年 中学2年 中学3年
- 2 あなたは、上伊那地域の県立高校の再編・統合について知っていましたか。
 知っていた 知らなかった
- 3 上伊那の高校には下表の「学科」があります。

学科名	学ぶ内容
普通科	普通教科（国語や芸術、情報など）の学習を中心に、幅広い教養を身に付ける学び
農業科	農林業における生産の基となる生産・加工・流通・消費などの実践による学び
工業科	ものづくりに関する知識・技術を身に付け、次世代の地域産業を支え発展させる学び
商業科	接客、商品開発、情報処理などの実習による事務職や販売職などを目指した学び
理数科	物理、化学や数学など理数科目の授業が多い、より専門的な理数系の学び
総合学科	個性を生かした主体的な学習、自己の進路希望を深める学びを重視した学科

あなたが進学したい学科はありますか。下の項目から1つ答えてください

- 普通科 農業科 工業科 商業科 理数科 総合学科
 - この中にはない（これを選んだ方は、あなたが進みたい学科や学びたいことをお書きください）
 - わからない・決まっていない
- 4 あなたが高校を選ぶときに重視することは何ですか、下の項目から3つ以内で選んでください。
 - 探究的な学びが充実していること
 - 普通教科（国語、社会、数学、理科、英語(外国語)、芸術、体育、家庭、情報）が充実していること
 - 専門教科（工業、農業、商業など）が充実しており、資格取得ができること
 - 体験的な学習や地域交流などの活動が活発であること
 - 入学後、進路希望に合わせて学科やコースが選択できること
 - ICT環境（Wi-fi等）を含めた施設・設備が充実していること
 - 通学がしやすいこと
 - 将来の職業につながる学びがあること
 - 進学（4年制大学等）にも対応した学びがあること
 - キャリア教育に力を入れた学びがあること
 - 進路に対する学校のサポートがあること
 - 規模の大きな学校であること
 - 部活動
 - 生徒会活動
 - 制服があること
 - 学校のルール
 - その他にあれば、具体的に記述してください。また、上記で選んだものについて、補足があれば記述してください。
 - 5 「上伊那総合技術新校（仮称）」に期待したいことは何ですか、下の項目から3つ以内で選んでください。
 - 各学科（農業、工業、商業など）の高度で最先端の学びがあること
 - 企業や大学等、地域や社会と連携した学びがあること
 - 自分で主体的に学習する探究的な学びがあること
 - 各学科（農業、工業、商業など）の学びを生かした資格取得ができること

- 学科（農業、工業、商業など）の学びを主にして、他学科の学びも選択できる柔軟性があること
- 農業、工業、商業以外の新しい学科が設置されること
- ICT 環境などを含めた施設・設備が充実すること
- 通学がしやすいこと
- 就職に対応した学びがあること
- 進学（4年制大学等）に対応した学びがあること
- キャリア教育に力を入れた学びがあること
- 進路に対する学校のサポートがあること
- 部活動
- 生徒会活動
- 制服があること
- 学校のルール
- その他にあれば、具体的に記述してください。また、上記で選んだものについて、補足があれば記述してください。

6 その他、ご意見やご感想、再編・統合についてわからないことなど、自由にお書きください。

【産業界】アンケート項目

- 1 あなたのお立場を教えてください。(所属・役職等)
(自由記述)
- 2 あなたは、上伊那地域の県立高校の再編・統合について知っていましたか。
○知っていた ○知らなかった
- 3 今後の高校教育では、高校生がどのような力を身に付けることが望ましいと思いますか、下の項目から3つ以内で選んでください。
 - 進学希望を達成するための知識・技能
 - 職業に関する専門的な知識・技術
 - 幅広い知識や一般教養
 - 知識・技能を活用する力
 - あいさつやマナーなど常識や礼儀
 - 適切な進路を選択するための職業観
 - 自律的・主体的に学び考え行動する力
 - 地域社会に貢献する力
 - 他者と協働する力・コミュニケーション力
 - 相手にわかりやすく伝える力・プレゼンテーション力
 - 論理的思考力
 - グローバル社会に対応する言語能力
 - 変化に柔軟に対応する力
 - ICTを活用する力
 - 独創性や想像力
 - 課題を的確に解決する力
 - その他にあれば、具体的に記述してください。また、上記で選んだものについて、補足があれば記述してください。
- 4 「上伊那総合技術新校(仮称)」に期待したいことは何ですか、下の項目から3つ以内で選んでください。
 - 各学科(農業、工業、商業など)の高度で最先端の学びがあること
 - 企業や大学等、地域や社会と連携した学びがあること
 - 自分で主体的に学習する探究的な学びがあること
 - 各学科(農業、工業、商業など)の学びを生かした資格取得ができること
 - 学科(農業、工業、商業など)の学びを主にして、他学科の学びも選択できる柔軟性があること
 - 農業、工業、商業以外の新しい学科が設置されること
 - ICT環境などを含めた施設・設備が充実すること
 - 通学がしやすいこと
 - 就職に対応した学びがあること
 - 進学(4年制大学等)に対応した学びがあること
 - キャリア教育に力を入れた学びがあること
 - 進路に対する学校のサポートがあること
 - 部活動
 - 生徒会活動
 - 制服があること

○学校のルール

●その他にあれば、具体的に記述してください。また、上記で選んだものについて、補足があれば記述してください。

- 5 企業の成長・発展に対して、地域の高校はどのように関連すると考えられるでしょうか、お考えを自由にお書きください。
- 6 上伊那地域の持続可能な発展のために、高校に求めることはどのようなこととお考えでしょうか、ご自由にお書きください。
- 7 地域と高校生のためになる、高校生と産業界との活動についてどのようなことが考えられるでしょうか、お考えを自由にお書きください。
- 8 既成概念にとらわれず、10年後、20年後の高校と地域産業との理想的な連携についてのお考えを自由にお書きください。

入口

入口

スクリーン

オンライン配信システム

演台

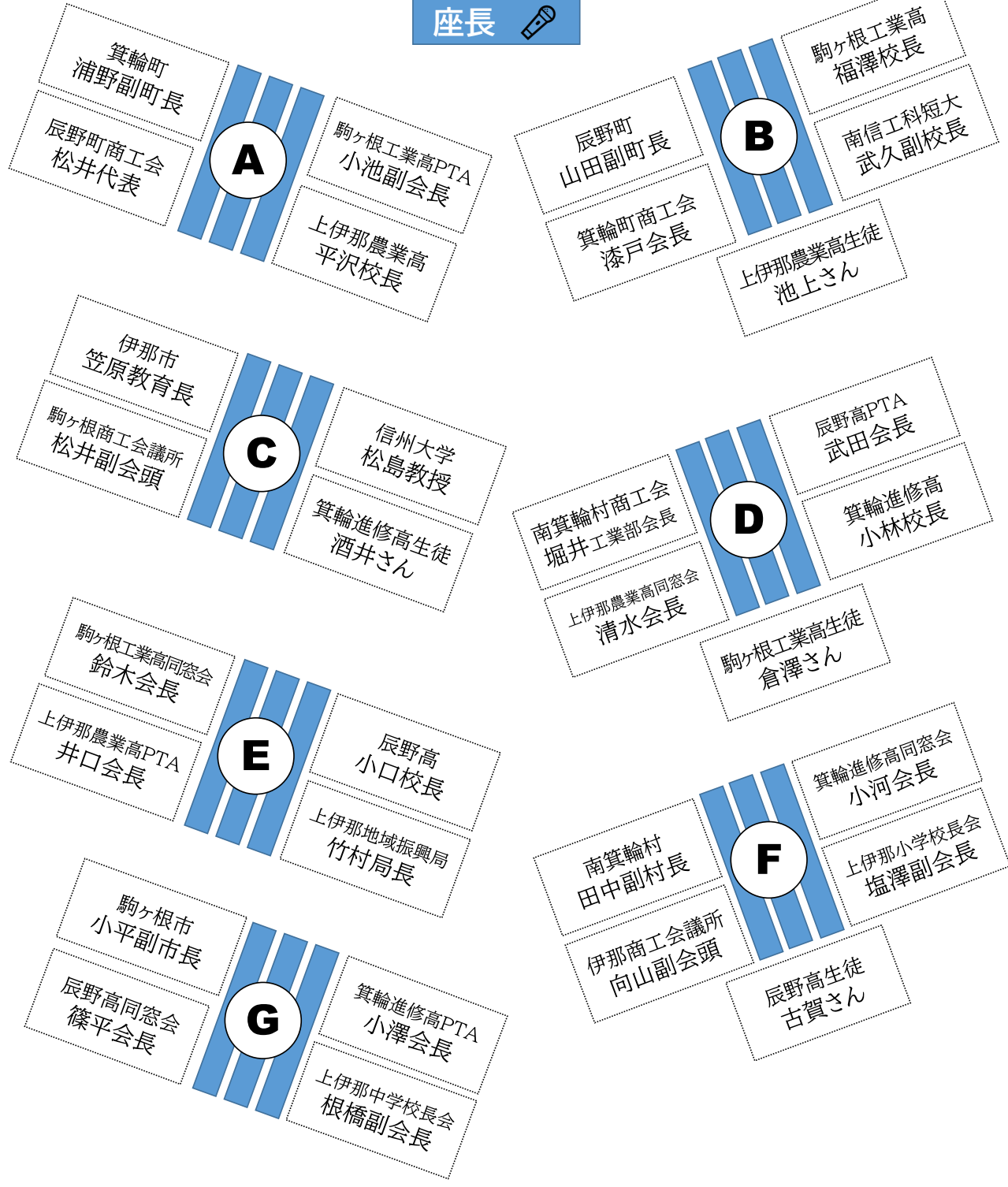
宮田村
加藤委員長
座長

事務局席 駒ヶ根工業
竹内教諭 壘教諭

事務局席

- 県教委
山岸主幹
田中主任
石井主事
- 辰野
加藤教頭
吉村教諭
丸山教諭
- 箕輪進修
岩田教頭
田中教諭
- 上伊那農業
武藤教頭
境教諭
山下教諭
若林教諭
- 駒ヶ根工業
谷口教頭
和田教諭

傍聴席



傍聴席

報道席